

特集ベートーヴェン—交響曲編

ベートーヴェンは1770年12月26日ボンに生まれました。今年が生誕250年にあたります。今回は資料室所蔵のベートーヴェンの交響曲全集をご紹介します。(★は請求記号)



フルトヴェングラー (1886-1954) CD★1A3.53-58

1948年から54年にかけてのウィーン・フィル、ストックホルム・フィル(8番)によるもの。第九は1951年7月29日のバイロイト祝祭管弦楽団&合唱団の実況録音で、第九演奏史上に輝く名演とされている。

トスカニーニ (1867-1957) ♪NBS 交響楽団 LP★Q52.4-0

ミラノ・スカラ座の芸術監督をつとめたあと、アメリカに渡った。1949年から52年にかけて、トスカニーニのために編成されたNBS交響楽団により、ニューヨークのカーネギー・ホールで録音された。20世紀ベートーヴェン演奏の規範とされた。

イッセルシュテット (1900-1973) ♪ウィーン・フィル LP★D69.4-0

ウィーン・フィル初のベートーヴェン交響曲全集。英デッカ/ロンドンレコードがベートーヴェン生誕200年を記念して発売した。1965年から1969年にかけて録音。イッセルシュテットはドイツ生まれの指揮者。この全集は息子のエリック・スミスがプロデュースした。

カラヤン (1908-89) ♪ベルリン・フィル

50年代にフィルハーモニア管弦楽団と最初の全集を録音、以後はベルリン・フィル。

- ① 1961年から62年にかけての録音で日本では63年4月に発売され飛ぶように売れたという伝説的なセット。 LP★C72.1-8
- ② 1975年から76年の録音。 2度目の全集 LP★P103.1-8
「長年にわたってオーケストラと一緒に勉強し練習し、演奏会を重ねた成果」と語っている。
- ③ 79年、レパートリーをデジタル再録音すると宣言。82年から85年、ベルリンのフィルハーモニーホールで録音された4度目のベートーヴェン全集。 CD★1A1.07ほか

バーンスタイン (1918-90) ♪ウィーン・フィル LP★D128.3-0

バーンスタインは60年代にニューヨーク・フィルハーモニックと全集を録音している。

(LP★E72.1-8) ウィーン・フィルと2度目の全集をライブ録音。1977年から79年。

「私にとってベートーヴェンとは、常にあまねく普遍性を意味してきた。しかしウィーン・フィルハーモニーを指揮してベートーヴェンを演奏した時、突然すべてが変わってしまった。(略)ウィーンというベートーヴェンの都でそのオーケストラを指揮した時、突然彼の音楽は、普遍宇宙の中に、『場所』の感覚を持つようになったのだった」(レコード解説)

1980年度レコード・アカデミー賞大賞。

アーノンクール (1929-2016) ♪ ヨーロッパ室内管弦楽団 CD★2A7.65-69

1990年から91年にオーストリア、グラーツのシュテファニエンザールで行われた演奏会のライブ。モダン楽器のオーケストラだが、指揮者独自の解釈からの斬新な演奏が繰り広げられている。

ガーディナー (1943-) ♪ オルケストル・レヴォリュショネル・エ・ロマンティック CD★3A5.46-51

自ら創設した古楽器オーケストラを率いての1991年～94年の録音。ベーレンライター新版校訂者ジョナサン・デル＝マーの協力のもと、オリジナル楽器により歴史的なベートーヴェン像の再構築を試みた。1995年度レコード・アカデミー賞大賞。

バレンボイム (1942-)

♪ ウェスト＝イースタン・ディヴァン orc CD★6A3.24-28

2度目の全集。1999年、バレンボイムとサイドによって創設された、中東のさまざまな国の若い音楽家たちからなるオーケストラの演奏。音楽活動によって民族的、宗教的な対立を克服することを目指した。2011年ケルンで録音。

アバド (1933-2014) ♪ ベルリン・フィル CD★4A7.16-20

最初のウィーン・フィルとの全集から12年後の全集。デル・マー校訂のベーレンライター新全集に拠りながら、独自の検討を加え演奏した。「第九の第一楽章のサブテーマのところでは自らの音楽的直観を優先させた」と語っている。1999年～2000年の録音。

ラトル (1955-)

♪ ウィーン・フィル CD★5A1.22-26、付録★DVD340

2002年4月29日から5月17日、ウィーンのムジークフェラインの連続演奏会のライブ録音。ベーレンライター社のデル・マー校訂版を用い、新しい解釈を加えた。

♪ ベルリン・フィル CD★6A7.59-63

2002年から18年まで常任指揮者をつとめたベルリン・フィル、2015年10月に行われたベートーヴェンツィクルス・ライブ。

ブリュッヘン (1934-2014) ♪ 18世紀オーケストラ CD★6A3.29-33

1981年に私財をなげうって創設した古楽器集団、18世紀オーケストラとの2度目の全集。2011年ロッテルダムにおけるライブ。ブリュッヘンはベートーヴェンの交響曲に特に力を入れた。

ティーレマン (1959-) ♪ ウィーン・フィル CD★6A2.06-11

2008年から10年にかけて、ウィーンのムジークフェラインでのライブ。ブライトコプフ旧全集版を使用し、20世紀前半まで主流だった巨匠（フルトヴェングラー）の様式を目指した。

朝比奈隆 (1908-2001) ♪ 新日本フィルハーモニー CD★2A4.52-58

1988年12月～89年5月サントリーホールでのライブ。朝比奈4回目の全集。ブライトコプフ版を使用し、楽譜に可能な限り忠実にという姿勢が貫かれている。日本の演奏史上に輝く記念碑的録音といわれている。